

半世紀にわたりつないできたボールと笑顔 三春バレーボールスポーツ少年団



工夫を凝らしたメニューで取り組む、厳しい中にも笑顔があふれる練習風景。

今年で創立50周年の節目を迎えた三春バレーボールスポーツ少年団。半世紀という長きにわたり子どもたちにバレーボールを教え、青少年の健全育成に貢献してきました。ここでバレーボールの楽しさを知り、中学校に入ってから部活動でバレーボールを続ける子も多いようです。練習は基礎から実践形式まで、子どもたちが楽しみながら取り組めるよう工夫されています。もちろん経験の有無に関わらず、**小学生なら誰でも参加**できます。バレーボールの魅力に触れる最初の一步として理想的な環境です。



息ぴったりのチームワークと力強いプレーは大人顔負け。日々の努力が感じられます。

Interview

指導方針は 「楽しく、元気に」

監督 佐藤 進 さん



今年から正式に監督に就任した佐藤進也監督は、自身も中学・高校でバレーボール部に活躍。その経験を活かし、指導者として、また子どもたちの保護者として、三春バレーボールスポーツ少年団の活動を支えています。

技術を伸ばすだけでなく、『楽しさ』と『元気』を大切にすることが、子どもたちのやる気や笑顔につながると感じます。練習に遊びや楽しさを取り入れ、自然

に技術を身につけられるような工夫をしています。

チームのスローガンは、『笑顔・明るく・いつも全力・ベストを尽くせ』。勝ち負けだけでなく、一人ひとりがベストを尽くすことでこそ気づくことがあると思います。スポーツを通して、**勝つ喜びや負ける悔しさ**はもちろん、メンバーとの協力や人とのつながりを学び、その経験を成長の糧にして欲しいです。



みんなでボールをつなぐのが楽しい

三春小学校 6年生 キャプテン
大内 佳乃 さん



バレーボールを始めたのは1年生の冬ごろです。きっかけはお父さんが見ていたアニメ『ハイキュー!!』。「楽しそう!」と思い、二つ上のお兄ちゃんと一緒に始めました。今では二つ下の妹も同じチームで頑張っています。

バレーボールの好きなところは、みんなで力を合わせてボールをつなぐところ。**一人じゃなく、みんなで力を合わせてプレーできるのがすごく楽しいです。**

9月に行われた「三春バレーボールスポーツ少年団杯2025」では、4位に入り、とてもいい思い出になりました。11月の公式戦でもチーム全員で協力して、**絶対に県大会に行きたいです!**

